

7/7

ママも赤ちゃんも健康に

総合保健福祉センターかがやきで、関口雅代先生を講師に迎え、妊娠16週以降の妊婦を対象としたマタニティフィットネス教室を開催しました。

マタニティフィットネスとは、妊娠・出産などで変化する女性の体調やニーズなどに合わせた運動プログラムで、今とても注目されています。食事や休養に気を配るだけでなく、体を動かす生活をスタートしましょう。

この日参加した皆さんは、思ったよりハードな動きに息が上がる場面もありましたが、気持ち良い汗をかくことができましたようです。

次回の教室は、10月頃に開催する予定です。詳細は広報常陸大宮お知らせ版をご覧ください。



▲体を動かしてエネルギー消費、体力アップ

7/6

農業を始めたい人へ

平成28年度常陸大宮市農業入門講座（主催：常陸大宮地域農業改良普及センター）の開講式と第1回講座が、道の駅常陸大宮かわプラザで行われました。

平成12年度から始まり、延べ約400人が受講しているこの講座は、新規就農者や定年退職後に農業を本格的に始めたい人向けに開講されています。

この日は27人が参加し全7回の日程を確認。1回目の講座では市の主要品目の紹介、奥久慈ナスやハナモモの栽培方法について話があり、受講者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

2回目以降は、先進農家での収穫や出荷の現地研修、農業・土づくりなどについて学習する予定です。



▲なすの栽培について説明

7/9

常陸大宮市のお宝を学ぼう

平成28年度「常陸大宮市のお宝発見事業」の第1回を、市内の小学校4～6年生42人が参加して実施しました。これは、市の掲げる「郷愛立市づくり」の一環として、平成25年度から実施している事業です。

午前中は、本市の泉坂下遺跡から出土した人面付土器や弥生時代の土器について説明を聞き、その後、御前山地域在住の陶芸家菊地弘さんの指導で陶芸を体験。好きな動物やお皿、器など、一人2つずつの作品を作りました。

午後は、予定していたジャガイモ掘り体験が雨のためできなくなり、室内のレクリエーションに変更。茨城大学の「子どもふれあい隊」メンバーによ

るいろいろなゲームや市の歌の合唱など、頭と体をたくさん使った体験を楽しみ、初めて会った他の小学校の児童とも打ち解けることができました。

参加者は、今回を含め全6回の体験をとおして、ふるさと常陸大宮市の魅力（お宝）を発見していきます。

○参加者の声

- ・昔の人は、こうやって土器を作っていたんだな、と思った
- ・みんなと協力してゲームができて楽しかった
- ・市の歌を最後まで覚えられてよかった



▲泉坂下遺跡についての説明



▲思い思いの器を制作しました



▲盛り上がったレクリエーション

6/29 高齢者クラブ連合会スポーツ大会

緒川運動公園グラウンドで「常陸大宮市高齢者クラブ連合会スポーツ大会」が開催されました。

この大会はクロッケー・ペタンク・輪投げ・グラウンドゴルフの4種目が行われ、各地域の代表チームが出場し、いばらきねんりんスポーツ大会の出場権を争いました。

約250人が参加して行われたこの大会は、高齢者の健康増進、仲間同士の交流や地域の親睦を深めることにもつながったようです。参加者の皆さんは、いきいきと楽しそうに、そして真剣に勝負に取り組んでいました。



▲メンバーの声援を受けてがんばりました

7/2 生瀬・山方の乱について検証

第1回文書館カレッジ「生瀬・山方の乱について一乱の発年代・事件の性格を中心に一」を、元佐竹高等学校校長の野上平さんを講師に迎えて開催しました。佐竹氏の国替え、水戸藩の成立という戦国から江戸時代への過渡期に起きたとされる「生瀬の乱」「山方の乱」について、古文書や言い伝えを素材に長年の研究成果について話がありました。地域の歴史には関心が高く、170人の来場があり、質疑応答でも熱心な議論が交わされました。

第2回は12月頃開催の予定です。



▲講演する野上平氏

7/3 漆の魅力を体験

山方地域の特産品である漆の魅力に触れてもらうため、漆塗り体験教室の第1回目を実施しました。

講師の山方漆ソサエティーの皆さんと本間健司氏の親切丁寧な指導のもと、市内在住の幅広い年代の15人が漆塗りを体験しました。

この全5回の体験教室をとおして、小皿2枚と箸5膳を仕上げる予定で、今回は生漆に砥の粉とカーボンをよく練って混ぜたものを塗る木地固め・下地の工程を行いました。

下地の作業が終わった小皿と箸は、漆を固化させる専用の「漆室」に入れられ、次回以降、漆を塗り重ねていく予定です。



▲木地全体に漆を馴染ませる作業をしています

6/28 文化財パトロール実施中!

文化財は地域の歴史や文化の生い立ちを理解する上で、欠くことのできない私たちの貴重な歴史的遺産で、市の文化発展の基礎となるものです。本市には、県・市指定の文化財や遺跡など多くの文化財が所在しています。皆さんも機会があれば、ぜひご覧ください。

また県や市では、これらの貴重な文化財を保護するために文化財保護指導委員による巡視を実施しています。今年度の第1回巡視は6月28日に実施され、市内の文化財・遺跡について異常のないことを確認しました。なお巡視は年3回予定されていますので、皆さんのお近くへ行った際には、ご協力をお願いします。



▲文化財巡視中（小貫地内）

7/12

自転車競技大会で表彰

7月7日に、「第53回交通安全子供自転車茨城県大会」がひたちなか市で開催されました。この大会で、大宮地区代表として出場した村田小学校の6年生5人が団体の部で第4位、個人の部で花野瑛さん（6年生）が第9位の成績を収め、市役所を訪れた子どもたちに教育長賞が手渡されました。

この大会は、交通ルール等の知識や自転車走行技能の習得、児童の交通事故防止啓発を目的としています。県内各地区代表の28小学校、選手112人が出場し、交通ルール等に関する学科試験と自転車の基本的な乗り方を習得する実技を競い合いました。



▲表彰された村田小学校の皆さん

7/22

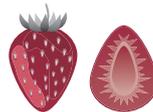
優れた農業経営を実践

新たに県青年農業士に認定された菅野大志さん（野口）が市長室を訪れ、認定の報告を行いました。

菅野さんは県外出身で、御前山地域の景観の良さやイチゴ栽培に適した環境、常陸大宮地域農業改良普及センターや市の新規就農者への手厚い支援などが決め手となり、この地でイチゴ作りをはじめました。

現在では「いばらキッス」「ひたち姫」「とちおとめ」など多品種を栽培していて、今後も活躍が期待されることから、本年度より青年農業士として知事からの認定を受けました。

今年度、茨城県で青年農業士の認定を受けたのは29人です。



認定を受けた▶
菅野大志さん



7/1

地域に根ざした活動に貢献

市の人権擁護活動に多くの功績があったとして、寺門延幸さん（下村田）が法務大臣から表彰されました。寺門さんは、平成15年から人権擁護委員として、市民からの人権相談や人権思想の啓発活動を積極的に行うなど、4期にわたり広く人権擁護活動に貢献されました。

また和知好美さん（高部）は、市人権擁護委員として、法務大臣から委嘱（再任）されました。和知さんは、平成19年に人権擁護委員に就任、現在まで広く人権擁護活動に尽力されています。

なお、新任の市人権擁護委員として、山崎江里子さん（下村田）が法務大臣から委嘱されました。



▲寺門さん(左)と和知さん(右)

▲山崎さん

7/27

霞ヶ浦の水や生き物を学ぶ

市内小学生とその保護者30人が参加して、霞ヶ浦湖上体験スクール（主催：市環境市民会議）が実施されました。

はじめに、土浦市の霞ヶ浦環境科学センターに到着。施設内で霞ヶ浦の歴史や地理、文化などの説明を受けました。その後バスで移動し、船に乗って湖上体験へ。霞ヶ浦の水質や生物について学んだ後、実際に透明度を確認し、水の濁りを比べたり、汲み上げた水をルーペで確認したりし、水生生物や微生物を調べました。野鳥や植物、魚など様々な自然を観察することで環境とくらしにどう関わっているか、楽しみながら学ぶ貴重な体験となりました。



▲実際の湖水で透明度を調べました

7/24

常陸大宮市の三大江堰を学ぶ・巡る

歴史・生涯スポーツ・環境のトリプルツアーとして「三大江堰を学ぶウォーキング」が開催されました。これは市まちづくりネットワークが主催し、市の三大江堰である岩崎江堰・辰ノ口堰・小場堰や中世城郭跡などを巡り、ふるさとの歴史を学びながらウォーキングやゴミ拾いをしようと企画されたものです。

この日は晴天に恵まれ、56人が参加。道の駅常陸大宮かわプラザからスタートして、まず岩崎堰旧取水口や水路を辿りました。講師の野上平先生より、開設した堰が洪水で役に立たなくなり移築されたことや、当時はずっと水量が多かったことなどを聞き、参加者は当時の様子に思いを馳せました。

その後、辰ノ口堰・宇留野城跡・前小屋城跡などを見学。佐竹氏の秋田移封に関連して廃城となったことやダイダラボッチの足跡といわれる池のいわれなどについて話を聞きました。また全国でも有名な人面付土器が出土した泉坂下遺跡も見学しました。

お昼を挟んだ後は、三美にある滝ノ上遺跡と小場堰へ。普段は入れない水門の近くで、間近に小場堰を見学しました。

参加者からは「身近なところに遺跡があると知ることができてよかった」「知りたいことがたくさんあるのでツアーをシリーズ化してほしい」などの声があり、主催者は次回開催に向けて意欲を示していました。



▲解説する野上平先生



▲前小屋城跡で解説を聞きました



▲水路を右手にウォーキング

7月

犯罪防止と立ち直りを支える地域のチカラ

7月1日、市役所で「第66回社会を明るくする運動」に関する内閣総理大臣からのメッセージが、那珂地区保護司会大宮分会会長岡山和夫氏ほか2名から市長へ伝達されました。

この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

7月23日、市文化センターで「第66回“社会を明るくする運動”常陸大宮市民の集い」が開催されました。

この集いでは、茨城大学特任准教授の長谷川幸介先生を講師に招き、『社会は人間の「しあわせ」装置』と題した講演会が行われました。「人が幸せになる条件は、血縁・地縁・友縁・職縁でつながる社会である」との先生の話に、多くの市民や関係者が熱心に耳を傾けていました。



▲メッセージを市長に手渡しました



▲講演する長谷川幸介先生

市民の方から まちのできごと

7/17

盛金で3年に一度の神幸祭

山方盛金地区で、3年に一度の素鷲神社の神幸祭が行われました。この祭りは、地区の住人が担ぎ手となり、神輿が各地域を回ります。そして氏子総代の庭先等を祈禱場所として、住民の健康と安全を祈願します。



この日は梅雨明け前でしたが、湿度が高く、担ぎ手もお休み所で待つ人たちも全員汗だく。それでも威勢の良い神輿をもむ声に、見物人から声援が送られていました。



▲順路を逸れて久慈川でお清め

7/25

来場者30万人達成

道の駅常陸大宮かわプラザの来場者が、30万人を突破しました。記念すべき30万人目の来場者となったのは県外から訪れた3家族。千葉県市原市から来た羽野さん夫妻は観光で、神奈川県横浜市の小山さん・高橋さん家族は太子町でのキャンプのため来場したそうです。

記念として駅長から商品券が送られ、「さっそく道の駅での買い物に使いたい」と話していました。



▲道の駅の遠藤駅長と記念撮影

市民の方から まちのできごと

6/26

小田野でふれあいまつり

梅雨の晴れ間の暑い一日、小田野山村広場で、第6回小田野区ふれあいまつりが開催され、約120人が参加しました。



◀入念に準備体操

開会式では、旧小田野小学校の「山の子のうた」が歌われ、「パン食い競争」や「飛んでMYシューズ」などの競技に声援が送られました。

また若衆会や友の会の皆さんの出店があり、山車から聞こえるお囃子の音色や子供神輿の掛け声がお祭りを盛り上げました。



▲選手宣誓は6年生の3人です

6/3

スポーツ推進委員表彰

関東スポーツ推進委員研究大会で、本市のスポーツ推進委員の藤田佳史さんが長年の功績を認められ、功労者表彰を受けました。藤田さんは、昭和63年に緒川村体育指導委員に就任し、同村体育指導委員会委員長を歴任。現在は、市スポーツ推進委員会副委員長や市スポーツ少年団本部長を務め、市民がスポーツを通じて健康で豊かな暮らしを送るためのお手伝いに力を注いでいます。



▲ 表彰された藤田さん（中央）

市民の方から まちのできごと

全日本クラブ卓球選手権大会に出場

7月15日から18日にかけて大阪府で行われた、第35回全日本クラブ卓球選手権大会の小・中学生の部(女子)に、茨城県代表として西部総合公園体育館で活動している球友クラブJr.が出場しました。選手は日ごろの練習の成果を発揮し、全国の強豪クラブを相手に堂々とした戦いをみせました。

参加者：球友クラブJr.(女子) 木村博監督

四倉鈴(大宮中3年)、佐藤幸美(明峰中3年)

宇留野理沙(大宮中1年)、菊池心愛(大宮中1年)

川西彩聖(大宮中1年)、川西唯加(大宮西小5年)

菊池結愛(大宮西小4年)



▲全力を出し切った球友クラブJr.の選手たち

いっしょにまちづくり

「三大江堰を学ぶウォーキング」に参加して

三大江堰を造ったのは永田茂衛門、勘衛門親子である。その子孫が知人で、興味があり「まちづくりネットワーク」主催のウォーキングに参加した。まず、岩崎・辰ノ口堰を巡り、江戸時代の久慈川は現在よりずっと水量が多く、また川底も高く位置も違っていたとの説明が興味深かった。今の様な機械も道具もない時代に、わずか2～3年で各江堰を完成させたスピードに驚き、当時の土木工事レベルの高さに感心した。その後「宇留野城跡」「前小屋城跡」「泉坂下遺跡」を巡り、心地よい汗をかいた。昼食は天然鮎の塩焼きとおにぎりに素麺で、つめの器は青竹を切り出したもので風情があり、大満足だった。午後は那珂川の小場堰を見学した。文化遺産を巡りながら名産の鮎を食し、久慈川、那珂川から市の魅力を再発見できた素敵な1日だった。



山崎 勝弘さん

7/17

スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会

6月12日に行われた、スナッグゴルフ対抗戦茨城B地区予選会で優勝した大宮小学校の児童6人が、福島県のグランディ那須白河ゴルフクラブで開催された全国大会に出場しました。

大宮小学校は昨年から2年連続の全国大会出場で、那珂カントリークラブのゴルフ場を借りて、この日のために一生懸命練習に取り組んできました。

大会には6人のプロゴルファーが参加し、子どもたちはプロと一緒にプレーできて、緊張しながらも楽しんでいる様子でした。またこの日は、時おり小雨が降るあいにくの天気で、水気を吸った芝とボールに苦労しましたが、子どもたちは元気いっぱいプレー。参加28チーム中、11位(85ストローク)の成績を収め、日頃の練習の成果を発揮することができました。

<出場選手・監督>

坂井花凜・小室咲貴・高梨美優菜・栗田颯姫
見代美咲・佐久間貴大・三村拓郎監督

<個人賞>

ホールインワン賞 見代 美咲
アルバトロス賞 佐久間貴大



▲みんな力強いショット!! (上)
試合を終えて笑顔の選手たち (下)